

利用者様投稿欄

利用者さんからの投稿、自由詩だそうです。前回に引き続き2回目になります。

誕生日の夜 ひとり離れている家族のことを想って、いろんな問題があっても
みんな一緒なんだと感じた時に浮かんだ詩です。

形を変えても

ただ 貴方が幸せであればいい

長い間命の旅を続けてきた私達に
安らぎがありますように

憎しみ合い 奪い合っても
最後には怖れますように

どんなに離れていても 私達の原点はいつでも一緒

共に居れなくとも 傍に居られますように

寂しくても いつの日も
私達がこの星の家族でありますように



※編集後記※ 春の足音が聞こえて来る季節になりました。ん?? 春の足音ってどんな音? 草木の芽吹く音? 土の中の動物たちが冬眠から目覚めだす音?? いずれにしても太陽をいっぱい浴び、思いっきり背伸びしたくなる季節です。でもいや～な花粉症の季節でもありますよね。もし既に花粉症の方は添加物が多い加工食品を控え目にして、アレルギー症状に効果のある緑茶やヨーグルトなどの乳酸菌食品・キムチなどの発酵食品を多く摂るなど、試してみられてはいかがでしょうか。

○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの、障がいがある方・家族・支援者からの相談をお受けします。障がいの種別、手帳の有無は問いません。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00(月～金)

9:00～17:00(土・祝日)

・上記時間帯以外でもご相談をお受け致します。

事前にご連絡下さい。

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

住所:佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

電話:0942-87-8956 FAX:0942-85-9003

Mail:so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp



キャッチ通信

第11号

平成25年2月発行



新年のご挨拶

所長 高尾 一弘

寒中お見舞申し上げます。今年は十二支六番目の干支、巳の年です。

昨年の11月は政局が大きく動き、師走には衆議院の総選挙となり、結果は三年ぶりに再び政権交代する事態となりました。今年の日本は、経済、震災復興、外交、防衛、エネルギー問題、社会保障等々、多くの政治課題が山積する中、アメリカ同様ねじれ現象を抱えながらの難しい政局運営となるようで、とりわけ夏の参議院選挙は大きな別れ道となるようです。このような難題が山積する国内情勢を見ると経済の復活なくして社会保障政策の充実が進まないのではないかと危惧しています。このたびの自民党安部政権では経済の好転を最優先するとのことで、新政権、金融緩和発言に対する期待からか株価の上昇や数年ぶりの円安となるなど経済に良い兆しが観られています。辰巳年は株価が上がるというジンクスがあるようで国の財政力の向上、今年こそ強い経済の復活に期待したいと思います。

皆さんも御存知のとおり日本の福祉は、中負担、中福祉の路線で進められています。障害福祉でも「人としての尊厳」、「本人のニーズ」に着目した地域福祉の推進により、街にサービス資源が少しずつ整い、誰もが普通に暮らすための課題がぼんやりながら見え始めてきています。しかし地方の福祉予算は毎年高額な伸びを示し、さあこれから本番と言う大切な時期なのに行政からは財政上の厳しい声が聞こえ始めています。まだまだ手がつけられていない地域で暮らすためのツールが多い中で、この先の見通しのつかない不安を感じている方々も多いと察します。

最近の講演会でよく耳にすることは、一つに、予算には限界が有ることを前提に今後は地域の中に包み込む「共助」助け合いの仕組みを作らなければいけません。これが今後の地域福祉の充実を占う大きな鍵になるということです。二つ目には、今後の福祉サービス事業所は公的な福祉サービスのみの整備に終始することなく、本人・家族・地域の声に耳を傾け、事業所独自のインフォーマルな支援サービスをも作り出し、困り度を解消する工夫を事業所自ら行なっていく。また小規模で単一サービスを実施する事業所においては、他の法人が運営する事業所と、グループ化や統合を図り多機能事業所群として連携を図り、法人運営等のスケールメリットを追究する中で機能強化を図っていくことが求められます。三つ目には、行政を中心とした地域の療育システムの早期確立、発達障害に関するニーズの増加に伴う支援の受け皿づくりをおこなうこと等々が強調されていることに気づきます。

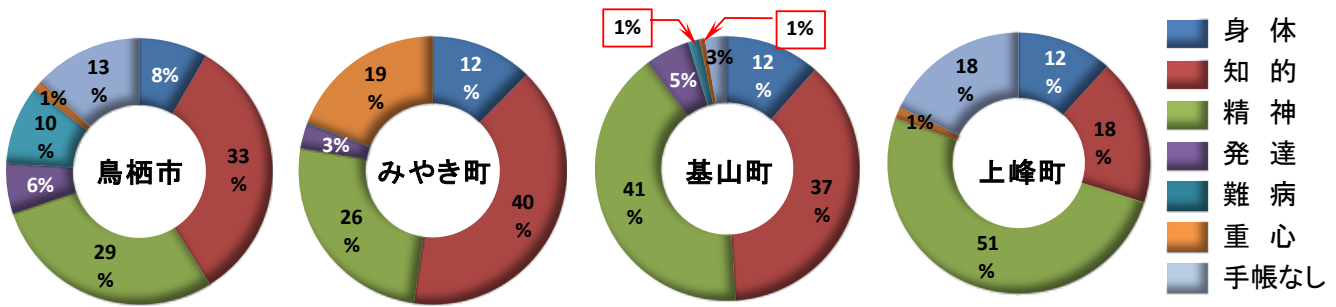
今後の福祉がより良いものになるためには、「自助・公助・共助」の考えをもう一度思い起こし、この地域福祉の三本柱がバランスよく機能していく必要が有ると思います。街づくりに向けて地域の理解を深め、専門家を含めた支え手の育成、また福祉事業所やその専門家は本人を地域で支える仕組み、「地域力」を強化していくような様々な工夫を行なって活動していく中で福祉の充実にも努めていくべきではないかと考えます。

今年は障害者総合支援法施行の年でもあり、何かと忙しくなりそうです。キャッチとしても街づくりに向けた新たな創意工夫のもと、誠心誠意の支援を心がけていきたいと思っておりますのでご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

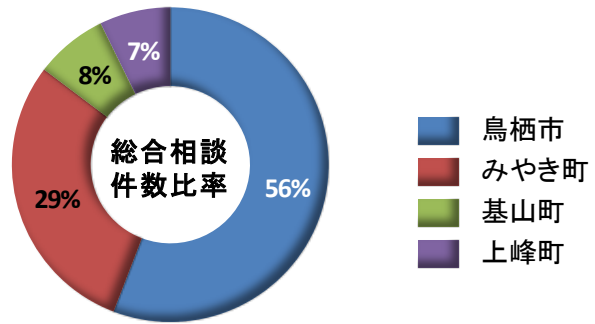
皆さんにとりまして、幸多き一年になりますよう心からお祈り致しております。

∞ 無量寿 ∞

24年10月～12月の相談件数



	鳥栖市	みやき町	基山町	上峰町
身体的	92	72	17	17
知的	362	232	55	26
精神	318	148	60	73
発達	67	17	8	0
難病	106	1	2	0
重心	14	112	1	2
手帳なし	146	0	4	26
合計	1,105	582	147	144



平成24年度鳥栖・三養基地区

就労支援ネットワーク強化・充実事業「講演会&シンポジウム」が開催されました

2月9日(土)に鳥栖市『サンメッセ鳥栖』において、鳥栖・三養基地域自立支援協議会・就労支援部会が主催し、上記事業が開催されました。満席となるほど多くの方に会場へお越しいただきました。

第一部では、社会福祉法人椎原寿恵会 特別養護老人ホーム真心の園 介護課長 前田清之氏から、「障がい者雇用の実際」をテーマに雇用するにあたっての事前実習や雇用後の留意すべき事項について、経験談を交えてお話をいただきました。(写真;右下)



第二部では、「就労と生活、夢と希望、今求めるもの」というテーマでシンポジウムが開かれました。

特定非営利活動法人 しょうがい生活支援の会すみか 代表理事の芹田洋志コーディネーターの進行で、障がいのある方7名がシンポジストとして登壇され、自分自身の障がいと向き合いながら働くことの喜びや夢について、少し緊張しながらも自分の思いを熱く語られました。(写真;上)

また、アンケートにもご協力いただき「このような機会や場面がもっと多く、身近に開催されるといいのに」、「障害のある方の素直な気持ちが聞いて良かった」といった意見が多く寄せられました。結果を踏まえて今後の事業取り組みへの参考とさせていただきたいと思ひます。

アンケート集計結果	
障がいのある方の、生の声が聞いて良かった	38件
話を聞く機会が増えることを望む	19件
企業の取り組みについて知ることができた	9件
話を聞いて就労への意欲が湧いた	10件
社会の変化に期待したい	5件
障がいの理解を深める必要性を感じた	13件
自己の見直しに役立った	10件

事業所紹介

放課後等デイサービスを始めます。

放課後等デイサービスとは…放課後や夏休み等において生活能力、社会への適応能力等を高めていけるような支援を行います。子供たちの居場所作りを高めていくとともに、創作活動や運動、音楽等を行います。

平成 25 年 4 月よりスタートします。

学校までお迎えに行きます。(事前にご相談ください)

詳しくは下記までご連絡ください。

若木園 0942-84-8785

090-5483-0346

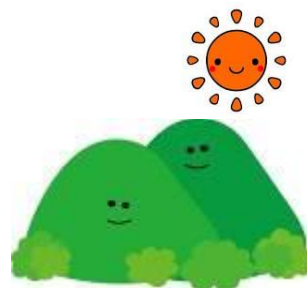
担当 林 中村

朝日山学園

- 「重い障がいがあっても、当たり前生き方が出来るように」
- 「重い障がいがあっても人として尊重されて生きていけるように」
- 「重い障がいがあっても自分で考え判断して生きていけるように」
- 「地域の方々と関わりをもちながら、生きていけるように」

という基本理念のもと、私たちあさひ会は重い障がいを有されていても生き方を制限されることなく、希望や要望を叶え、人生がより豊かなものになるように、利用者一人ひとりの障がい特性を理解し、出来ないところは支え、出来るだけご本人が選択し決定していく中で、自立に向けた支援をさせて頂いています。

何かお手伝いできることがございましたらご用命ください。



社会福祉法人あさひ会 〒841-0073 佐賀県鳥栖市江島町字西谷 3300-1

生活介護事業所 朝日山学園 TEL: 0942-84-3266 FAX: 0942-84-3286

共同生活介護事業所 ケアホームひまわり・こすもす

居宅介護事業所 タッチ TEL: 0942-81-5287 FAX: 0942-81-5289

佐賀県発達障害者支援センター結 TEL: 0942-81-5728 FAX: 0942-81-5729